



# 美 唄

B i b o i

## 健康ふれあいフェスタ2002

7月21日(日)美唄市総合福祉センター・保健センターにおいて、「健康ふれあいフェスタ2002」が開催されました。

天気のことごとく心配でしたが、雨が降りそうで降らない曇天の下、金魚すくいなどの縁日コーナーや足裏健康チェックコーナーなどと共に、お口の健康コーナーもはじまりました。お口の健康コーナーは、歯に関する健康相談、歯に良いおやつや牛乳の試食・試飲、歯の健康に関するビデオ上映、ハブラシ・フロスなどの口腔衛生用品の展示などいくつかにわかれていて、その中の歯科ドックを、前山善彦先生と私、さらに2人の歯科衛生士で行いました。

例年通り「口臭テスト」、「咬合力測定」、「RDテスト」を行いましたが、予想していたよりも口臭テストに時間がかかり、最長で1時間待ちの状態になってしまい、交替でとりましようと言っていた昼休みもとれない程大盛況で、てんてこまいでした。ご来場下さった方々は、60歳代が中心で女性が多く、1時間待ちでも口臭テストを受ける方がいらっしゃる程、口腔の健康への意識が高まっているのだと実感しました。予定では150名の検



査を行うはずでしたが、やはり口臭テストに時間がかかったせいか、112名で時間切れとなり、その内訳は、RDテスト108名、咬合力測定110名、口臭テスト62名となりました。

様子を見に来て下さった宝崎会長、大坪先生、桜田さん、ありがとうございます。また前山先生、衛生士さん、臨時で手伝って下さった皆さん大変ご苦労様でした。

(岩本友理子記)

### 学校図画・ポスターコンクール

7月25日(木)美唄市教育委員会室において、美唄歯科医師会主催、美唄市教育委員会後援による学校・図画ポスターコンクールが催されました。

これは道歯、北海道、北海道教育委員会主催「北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に連動して行われるもので、北海道知事賞作品は日本学校歯科医会主催の同催しに出品参加する機会が与えられます。当日は当会会長のほか、市教育長、教育部長、学校長など8名により審査選考を行いました。前途洋々たる小学校児童の口腔衛生に関する関心は高く、出品された図画やポスターは、絵の上手な人から面白いアイデアにあふれるものまで種々沢山で選考に困る程でした。

(小森英世記)



選考風景

### 政治が乱れる時は気象も乱れる

台風6号と7号が7月、立て続けに日本列島に上陸し、各地に大きな被害をもたらした。7月に複数の台風が上陸したのは、気象庁が50年程前から統計をとり始めて以来、今年を含めて3回しかないという。本道には台風6号が上陸したが、7月の上陸は44年ぶりのことという。異例の台風の接近や上陸による低気圧の影響で7月に入ってもぐずつき続けるという異例の天候。

降水量は平年の2倍を超え、逆に日照時間は平年の6割程度、観光施設では入場客が前年の3割も落ち込み、よもやと思われた8月を迎えたのに、1～10日で降水量は7月より多くを記録し道内22の観測地点すべてで平年を大きく上回った。これに対して日照時間は、浦河41%、函館48%、広尾50%など、22地点すべてが平年以下、札幌でも降水量は平年の1.5倍の43mm、日照時間は81%、8月に入って10日までにまったく雨の降らなかったのは2日間だけという。

大通公園の納涼ビアガーデンのビール消費量は8月1日までの中間まとめでは前年同期を21%上回ったが、2～7日は前年比14%ダウンしたという。ビアガーデンがこのありさまでは、海水浴場や観光施設の客数の大幅の落ち込みはおして知るべし、関係者は「ただでさえ短い夏なのに」と空を恨めしげに見上げるだけ。

札幌气象台によると、この天候不順は本州に猛暑をもたらしている太平洋高気圧と北からのオホーツク海高気圧の勢力が共に強いため、本道上空が気圧の谷間となり、前線が停滞しているためだそう。天候回復は15日以降とみられる、とのことであるが、今夏美唄では真夏日は今のところ1度もなかったと思う。農作物を期待するのは無理かも知れない。

(雨田 実記)